

岐阜県健康増進計画「第4次ヘルスプランぎふ21(案)」に関するパブリック・コメントでいただいたご意見とそれに対する県の考え方

【意見募集期間】 令和5年11月24日(金)から令和5年12月25日(月)

【意見募集結果】 3件(2名)

該当箇所	ご意見(概要)	対応方針
p16 人口動態	40歳から悪性新生物が多いのに、甘い物が多すぎる。もっと減らすべきではないか。	ご意見のとおり悪性新生物の死亡数は多く、増加傾向にあります。がんによる死亡率減少を目指し、関係機関との連携によるがん検診の普及等の早期発見・早期治療等に取り組めます。県では、適切な量と質の食事の普及啓発など個人への働きかけと同時に、食環境づくりに取り組めます。
P67、p99 たばこ	<p>「タバコ病による早死にを無くする」&「受動喫煙の危害ゼロ」のいっそうの施策を！</p> <p>1. 「タバコ病による早死にを無くするための取り組み」をよりいっそう進める。</p> <p>(1)喫煙者の寿命は、我が国でも、男性で8年、女性で10年寿命が短くなるというデータが発表されている。当然に、健康でいられる期間(健康寿命、平均自立期間)も短くなり、タバコの喫煙率が高い都道府県ほど、概ね平均寿命と健康寿命が短く、死亡率が高く、喫煙者は非喫煙者と比較して4.2年短くなるというデータが厚労省等から出されている。</p> <p>(2)都道府県別の平均寿命と健康寿命の昨年までのデータでは(いずれも喫煙率の低く、長年にわたりタバコ対策に取り組んできている府県の健康寿命が長い結果となっている)、平均寿命、女性1位は岡山88.29歳、男性は滋賀82.73歳</p> <p>(3)タバコには、メンソールや香料など添加物が多く含まれ、肺深くまで吸わせ、依存性を強め、離脱を困難にしている。その実態を喫煙者は知らず、日本での添加物は無規制の現状がある(多くの国で規制が進みつつあるが)。喫煙者はニコチン依存にとどまらず、メンソールなどの添加物により、タバコにより囚われ、縛り付けられている。</p> <p>(4)喫煙者にその危険性の周知啓発をお願いします。そして、我が国でも「タバコの添加物の法規制と監督機関の創設」を貴県からも国へ要請いただきたい。</p> <p>(5)喫煙者に禁煙を促し勧めるために、「禁煙治療の助成」を自治体でもよりいっそう進めていただきたい。治療薬のチャンピックスが現在入荷待ちとなっていますが、来年春以降には入荷の可能性があるようで、準備を進めていただき、「禁煙治療の受診者数の数値目標を都道府県や市町村などで設けては」どうでしょうか。</p>	今後の取り組みとして、たばこの健康に及ぼす悪影響について、正しい知識を県民に普及啓発するとともに、特に妊婦、未成年者に対しての喫煙防止や、禁煙希望者に対する禁煙支援に取り組むこととしています。

該当箇所	ご意見(概要)	対応方針
P67、p99 たばこ	<p>2.「受動喫煙の危害ゼロの施策」をよりいっそう進めていただきたい。</p> <p>(1)内閣府の直近の調査でも、83.3%の人(喫煙者を含む)が受動喫煙の迷惑・有害性に怒っている。</p> <p>(2)健康増進法の屋内での受動喫煙防止の規定を屋外にも広げるべきで、屋内だけでなく、屋外の公共的施設や公園、子ども関連施設などを含め、禁煙空間を広げていただきたい。(さいたま市や相模原市、横浜市など多くの市が公園禁煙化の施策を進めている)</p> <p>(3)子どものいる場所や傍での喫煙・タバコをやめるルール作りの推進をお願いしたい。兵庫県条例のように。</p> <p>(4)家族や、職場、公共の場などの受動喫煙で、病気になり、早死にした人は数知れない。(厚労省のデータでも少なくとも年間15,000人が受動喫煙で亡くなっている)</p> <p>(5)来年の5/31世界禁煙デーと禁煙週間の機会に、イエローグリーンのライトアップ(公共的なタワーや役所、公共施設、保健医療機関など含め)による「受動喫煙防止の徹底化」を全国各地で広げる啓発を日本医師会や各地の医師会などと連携し日本禁煙学会でも提唱しています。</p>	<p>受動喫煙の防止対策のため、関係機関との連携による未成年者への喫煙防止教室や妊婦やその家族に対する禁煙の啓発等に取り組めます。</p>